

佐賀県代表チームが 全国障害者スポーツ大会で 銅メダルを獲得しました！

2006

第6回全国障害者スポーツ大会

のびぎく兵庫大会



肥前精神医療センター 作業療法士 小松洋平
(佐賀県精神障害者スポーツ推進協議会事務局)

いぬお病院デイケアを利用する人たちのバレーボールチーム「わんわんクラブ」が、昨年10月に兵庫県で開催された全国障害者スポーツ大会での精神障害者バレーボール競技で3位となり銅メダルを獲得しました。

また、これまで全国障害者スポーツ大会の開会式において、精神障害者の入場行進は認められませんでした。兵庫大会では初めて精神障害者が入場行進する歴史的な大会でした。

佐賀県チームは毎年九州チャンピオンに輝き、嬉野温泉病院チームが静岡大会・埼玉大会、わんわんクラブが岡山大会・兵庫大会と4大会連続の出場でした。年々レクリエーション大会から脱却し、「情熱」「感動」にあふれる真のアスリート大会になっていると感じます。

各地のブロック予選を勝ち抜いた12チームが出場したなか、4チームの決勝トーナメントにチームは進出しました。3大会連続全国制覇の高知県代表の強豪「龍馬クラブ」をあともう少しのところまで追い込みましたが、決勝戦には手が届きませんでした。しかし、3位決定戦で勝利しました。チームは昨年の岡山大会での予選落ちの「涙」が猛練習や「絆」につながり獲得したメダルでした。負傷者も多く、痛みに耐え、体力も限界に達しつつあっても、「全員バレー」の気持ちはまさに感動で、ベンチのコーチ・マネー

ジャーは号泣でした。彼らは精神障害者ではなくまさにアスリートだと感じました。このような感動をもらいチームに感謝しています。

チームは11月の九州大会を連覇し、来年度の秋田大会の出場権を得ています。来年度からは佐賀県障害者スポーツ大会への精神障害者の参加が検討されています。再来年度の大分国体後の全国障害者スポーツ大会からは、精神障害者バレーが正式競技となります。

これからもバレーボールが彼らのリカバリーのエネルギー源のひとつになることや彼らの頑張りが精神障害への理解につながることを期待します。そして、多くの「絆」「感動」「情熱」に出会い、元気をもらえることも楽しみにしています。



会員募集

協会では広く会員を募集しています。
ご協力お願いいたします。

年会費：個人会員 1口 1,000円

団体会員 1口 10,000円

納入方法は、郵便振替でお願いします。

詳しくは、協会事務局までご連絡下さい。



編集後記
editorial

暖冬だったせいか、菜の花は早くから咲き、猫の恋の季節も早く来たようです。猫の声を聞きながら「もう春かよ。みんな地球温暖化にだまされてる～」とぶつぶつ言っていました。気が付くと私の冬の服装のほうが変わるかも？とふと感じ、春を受け入れることにしました。自然にまかせて春を楽しみたいと思うこの頃です。(R・Y)